

〈競技上の注意事項〉

- 1 競技規則については、(公財)日本ソフトテニス連盟発行ソフトテニスハンドブックに準拠し、競技は7ゲームマッチで行う。
- 2 打球が体育館天井や付随設備に当たった場合は、打球した側の失点とする。
- 3 【服装・用具について】
 - (1) 選手は、背中にB5サイズのゼッケンの4隅を留めて出場すること。
 - (2) ハンドブック記載「ユニフォーム等着用基準」に基づき、公認メーカーのものを使用すること。
- 4 【審判について】
 - (1) 選手の敗者審判を原則とする。試合に出場した選手が行い、審判ワッペンをつけること。
 - (2) 正審は、ストップウォッチを用い、試合前の乱打・チェンジサイズ時の時間を管理し、スムーズに試合を進行させること。
 - (3) 審判中に、対処が困難な事態が生じた場合は、審判委員の指示を仰ぐこと。
- 5 【ベンチについて】
 - (1) ベンチは、審判台を背に組合せ番号の小さいチーム・ペアを左側とする。
 - (2) 団体戦において選手・監督は、原則としてベンチに腰かけて応援すること。
- 6 【練習場所について】
 - (1) **会場における練習については、指示された場所・方法を守ること。**
- 7 【個人戦について】
 - (1) 出場する選手が、病気やけが、その他理由により出場が困難であると校長が認めた場合は、ペアのうちの1人の選手変更を認める。その場合は、所定の様式に記入して受付時間内に大会本部へ提出すること。
 - (2) **個人戦では次の試合のペアは、前の試合終了以前にベンチ入りしなければならない。**審判が位置についてから、試合が開始出来ない場合には5分毎に警告を1つ与える。
 - (3) 選手は他のコートへ移動して、アドバイスを受けることはできない。また、ベンチ入り指導者は、試合の途中でベンチを離れた場合には同じベンチに戻ることはできない。なお、試合の途中でベンチ入り指導者を交代することはできない。
- 8 【団体戦について】
 - (1) チームは参加申込書に記載された選手4~8名と、監督1名により構成される。**選手、監督は団体戦初日の受付時間内に変更することができる。それ以降の変更はできない。**
 - (2) 選手が6名に満たないチームは、団体戦前日までに専門委員長へ連絡すること。(2ペアでの団体戦では2番目のマッチで試合が終了するため、対戦チームへの連絡が必要)
 - (3) トーナメント初戦と決勝リーグの全試合は、勝敗が決まっても3番目のマッチを行うことを原則とする。
 - (4) 試合進行状況によって2面展開、3面展開で試合を実施する場合がある。
 - (5) **1回戦のオーダー提出は、各コートの第1試合については9時15分までに、それ以外の1回戦は9時40分までに完了すること。**2回戦のオーダー提出は、対戦相手が決まり次第、5分以内に提出すること。2日目については別途指示する。
 - (6) **オーダー用紙はフルネームで記入すること。**登録外の選手を記入し出場した場合、当該チームの失格とする。提出の際は誤記入がないか十分に注意を払うこと。
 - (7) オーダー記載以外の選手が出場した場合、その当該チームは失格となる。
- 9 【その他留意事項】
 - (1) 監督・ベンチ入り指導者は、プレーヤーに身体上の故障が生じた場合は手当てをすることができる。また、選手に突発的な身体上の支障が生じてコート外の者から手当てを受けたいと申し出があった場合は大会本部と協議の上、許可することができる。
 - (2) 部旗や横断幕の設置場所については、会場毎に指示する。
 - (3) **日本ソフトテニス連盟が提唱しているグッドマナーを推進し、試合態度の向上や施設設備の丁寧な使い方などに留意しましょう。**